

令和2年11月2日

2.0版

防災学習システム
操作マニュアル
「防災マップを見る」編

愛知県防災安全局 防災部 防災危機管理課

目次

1.	はじめに	2
1.1.	「防災マップを見る」とは	2
1.2.	「防災マップを見る」をはじめる	3
2.	「シナリオ型マップ（地震／津波・洪水）」を使う	4
2.1.	「地図から位置を選択」モードについて	4
2.2.	「住所から位置を選択」モードについて	7
3.	「自由選択型マップ」を使う	9
3.1.	「地図から位置を選択」モードについて	9
3.2.	「住所から位置を選択」モードについて	12
4.	スマートフォンでマップを見る	13
4.1.	「防災マップ（スマホ版）」を起動する	13
4.2.	「防災マップ（スマホ版）」の操作方法	14

1. はじめに

本書には、愛知県防災学習システムの「防災マップを見る」の操作方法が記載されています。

！注意！

本システムのハザードデータは「愛知県 東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査（平成 23-25 年度）」を元に想定した予測値を用いており、実際の地震時の値とは一致しない可能性があります。

1.1. 「防災マップを見る」とは

「防災マップを見る」は、お住まいの地域の（東海・東南海地震連動時において予測される）震度や液状化危険度などの防災マップが確認できるサービスです。

「シナリオ型マップ（地震）」「シナリオ型マップ（津波・洪水）」「自由選択型マップ」の3種類のマップがあり、操作方法と知りたい情報に応じて選択します。

マップの種類

- シナリオ型マップ（地震）（P.3～）

予測される震度や液状化の可能性、地形的な成り立ちを順番に確認します。

家の辺りはどのくらい揺れるのか、液状化の可能性はあるのかを把握したうえで、その土地が揺れやすい（あるいは揺れにくい）理由を合わせて理解することで、体系的な耐震対策の検討に役立ちます。防災マップを初めて見る人におすすめのマップです。

- シナリオ型マップ（津波・洪水）（P.3～）

予測される津波到達時間、波高、浸水深などを順番に確認します。

家に津波が到達するまでどれだけの時間があるのか、浸水被害はどの程度かを把握することで、津波対策の検討に役立ちます。防災マップを初めて見る人におすすめのマップです。

- 自由選択型マップ（P.9～）

複数の防災情報を自由に組み合わせて表示できます。地図画面の操作に慣れていて、ある程度防災情報に詳しい人に向けたマップです。

1.2.「防災マップを見る」をはじめめる

愛知県防災学習システムから以下の手順で「防災マップを見る」のメニューを開きます。

- ① 「愛知県防災学習システム」のトップ画面から「防災マップを見る」をクリックします。
- ② 「利用規約」の確認ページが表示されます。「同意して利用する」をクリックします。
- ③ 「防災マップを見る」のメニュー画面が表示されます。

愛知県
AICHI PREFECTURE

トップページ 更新履歴 利用規約 このページの使い方

愛知県
防災学習システム

防災マップで閲覧できる各種ハザードデータは「愛知県 東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査（平成23-25年度）」において、「過去地震最大モデル」（震度、液状化危険度）、「理論上最大想定モデル」（津波到達時間、津波波高、浸水深、浸水深が30cmに到達する時間）を想定した場合の予測値です。実際の地震時の値とは一致しない可能性があります。

シナリオ型マップ (地震) 地図から位置を選択 住所から位置を選択	ボタンをクリックしていただくだけで、適切な順番に災害情報を閲覧することが出来るマップです。表示される地図の解説も表示されるので、 防災マップを初めて見る人に向けています。 シナリオは次のような順番です。 <地震> 1. 震度マップを見る 2. 液状化マップを見る 3. 現在と過去を比較する 4. 土地条件図を見る 5. 土地条件と震度を比較する 6. 土地条件と液状化を比較する 7. 建物倒壊シミュレータへ進む
シナリオ型マップ (津波・浸水) 地図から位置を選択 住所から位置を選択	<津波・浸水> 1. 津波到達時間マップを見る 2. 津波波高マップを見る 3. 浸水深マップを見る 4. 浸水深が30cmに到達する時間マップを見る 5. 津波避難ビルを表示する (休止中)
自由選択型マップ 地図から位置を選択 住所から位置を選択	表示する内容を自由に組み合わせる事が出来るタイプの地図です。 地図ホームページの操作に慣れていて、ある程度防災情報に詳しい人向けです。

愛知県防災学習システム, (C) Copyright 2008 AICHI-Prefecture All rights reserved

- ④ 表示する防災マップの種類を選び、位置選択の方法を選んでクリックします。
- ⑤ 防災マップが起動します。

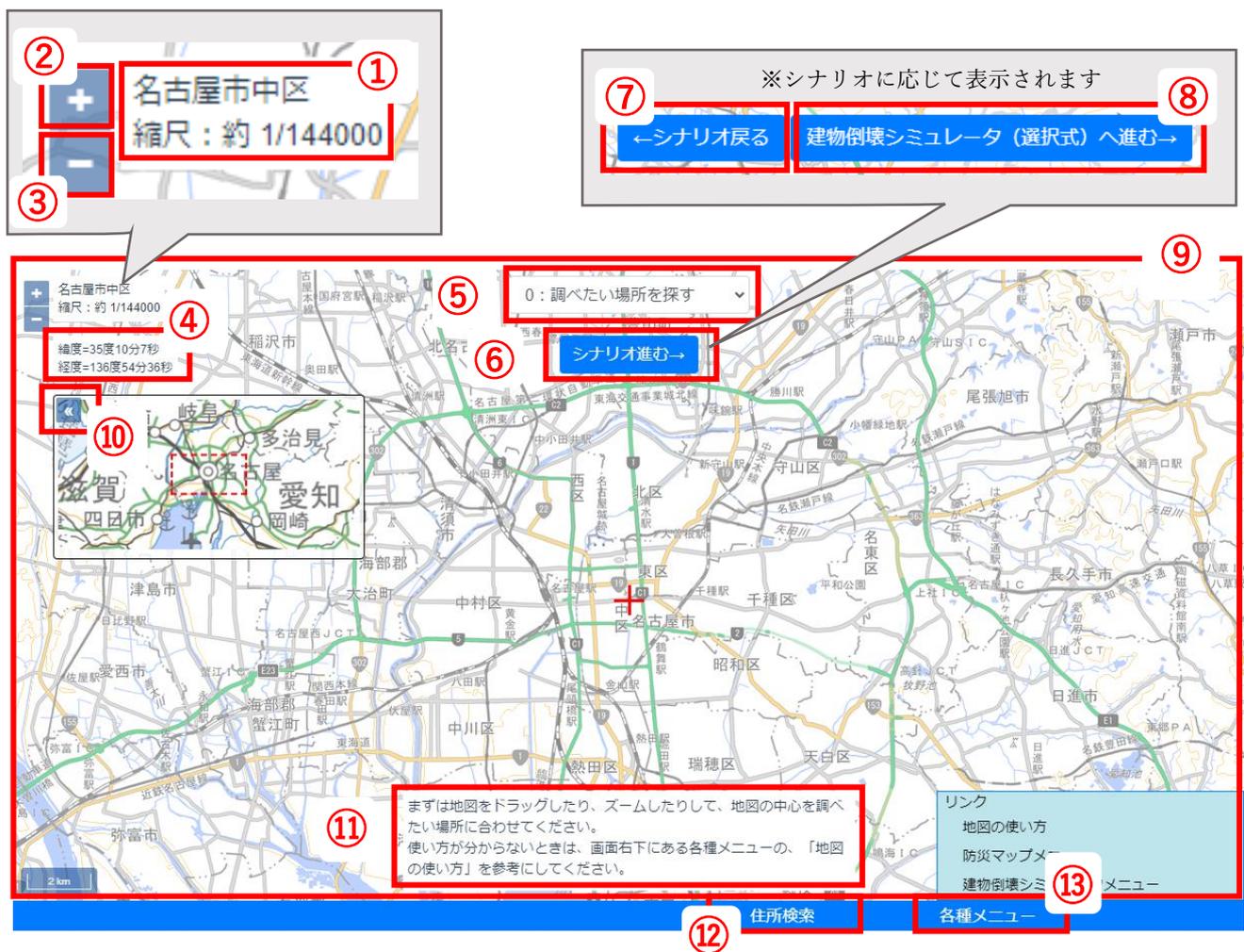
2.「シナリオ型マップ（地震／津波・洪水）」を使う

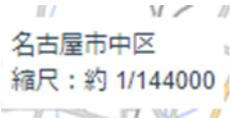
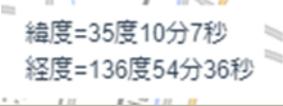
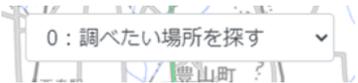
シナリオ（各マップ画面）を進めていくだけで、基本的な防災情報が一通り閲覧できます。表示するマップ画面や操作した内容に応じて解説文が表示されるので、防災マップを初めて見る人に向いています。

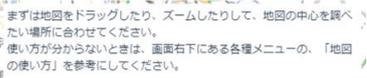
2.1.「地図から位置を選択」モードについて

防災マップで表示する場所を地図画面から設定します。

各部の名称と機能



番号	アイコン・ボタン	名称	機能
①		市町村、縮尺表示エリア	地図表示エリアの中心点の市町村名、及び現在の地図の縮尺が表示されます
②		地図縮尺変更ボタン (+)	地図を拡大します。最大 2000 分の 1 まで拡大できます
③		地図縮尺変更ボタン (-)	地図を縮小します。最小 57 万 8 千分の 1 まで縮小できます
④		緯度経度表示エリア	地図表示エリアの中心点の緯度と経度が表示されます
⑤		シナリオ名表示エリア	現在のシナリオ名が表示されます。クリックするとシナリオ名の一覧が表示され、シナリオ名を選択してシナリオを移動できます
⑥		シナリオ進むボタン	次のシナリオに進みます。最後のシナリオの画面では「建物倒壊シミュレータへ進むボタン」になります
⑦		シナリオ戻るボタン	前のシナリオに戻ります。最初のシナリオの画面では表示されません
⑧		建物倒壊シミュレータへ進むボタン	建物倒壊シミュレータ (簡易版) を起動します
⑨		地図表示エリア	防災マップが表示されるエリアです。表示される背景図やレイヤ (各種情報) はシナリオによって異なります
⑩		広域図表示ボタン	広域図が表示されます。地図表示エリアの表示範囲が赤枠で示され、赤枠をドラッグすると地図表示エリアの表示範囲も移動します

<p>⑪</p> 	<p>シナリオ解説表示エリア</p>	<p>現在のシナリオの解説文が表示されます。表示される内容は、シナリオや地図の中心点によって異なります</p>
<p>⑫</p>	<p>住所検索</p>	<p>住所検索起動ボタン 住所検索機能を起動します</p>
<p>⑬</p>	<p>各種メニュー</p>	<p>各種メニュー 下記3つのメニューリンクが開きます</p>
	<p>・ 地図の使い方</p>	<p>地図の使い方の解説ページ（本書）が表示されます</p>
	<p>・ 防災マップメニュー</p>	<p>防災マップを終了して防災マップのメニュー画面に戻ります</p>
	<p>・ 建物倒壊シミュレーターメニュー</p>	<p>防災マップを終了して建物倒壊シミュレーターのメニュー画面に移動します</p>

2.2.「住所から位置を選択」モードについて

防災マップで表示する場所を住所から設定します。

なお、「地図から位置を選択」モードの住所検索機能も同様の手順で操作ができます。

住所検索の手順

- ① 「防災マップを見る」のメニュー画面から「シナリオ型マップ」の「住所から位置を選択」をクリックします。

防災マップが起動し、「住所検索」の画面が開きます。



- ② 「住所検索」の画面にある市町村一覧から、目的の住所の市町村をクリックします。
選択した市町村の町、大字の一覧が表示されます。



- ③ 目的の住所の町、大字をクリックします。
選択に応じた小字、番地、号が表示されるので、それぞれ選択します。

- ④ 住所を選択したら「住所検索」の画面の「×」ボタンをクリックして画面を閉じます。
地図表示エリアに指定した住所が表示されます。地図の縮尺は自動的に 5000 分の 1 になります。

ヒント

- 検索の途中で住所を修正する場合は、「住所検索」の画面上部にある「市区町村／大字／小字／番地／項」のタブから修正したい住所区分をクリックします。一覧が表示され、再度選択することができます
- 住所選択の途中で「住所検索」画面の「×」ボタンをクリックすると、選択した住所区分までの住所の範囲と縮尺で地図が表示されます

3.「自由選択型マップ」を使う

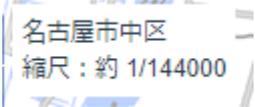
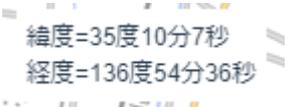
複数の防災情報を自由に組み合わせて表示できます。ある程度防災情報に詳しい人に向いています。

3.1.「地図から位置を選択」モードについて

防災マップで表示する場所を地図画面から設定します。

各部の名称と機能



番号	アイコン・ボタン	名称	機能
①		市町村、縮尺表示エリア	地図表示エリアの中心点の市町村名、及び現在の地図の縮尺が表示されます
②		地図縮尺変更ボタン (+)	地図を拡大します。最大 2000 分の 1 まで拡大できます
③		地図縮尺変更ボタン (-)	地図を縮小します。最小 57 万 8 千分の 1 まで縮小できます
④		緯度経度表示エリア	地図表示エリアの中心点の緯度と経度が表示されます
⑤		広域図表示ボタン	広域図が表示されます。地図表示エリアの表示範囲が赤枠で示され、赤枠をドラッグすると地図表示エリアの表示範囲も移動します
⑥		地図表示エリア	防災マップが表示されるエリアです。表示される内容は選択した背景図やレイヤによって変更されます
⑦		表示レイヤ選択テーブル	表示する災害情報 (レイヤ) を選択します。2 画面表示のときはそれぞれの画面に 1 つずつ表示されます
⑧		2画面表示切り替えボタン	地図表示エリアを 2 画面 (左右) 表示に切り替えます
⑨		住所検索起動ボタン	住所検索機能を起動します
⑩		各種メニュー	下記 3 つのメニューリンクが開きます

<ul style="list-style-type: none"> ・地図の使い方 	<p>地図の使い方の解説ページ（本書）が表示されます</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップメニュー 	<p>防災マップを終了して防災マップのメニュー画面に戻ります</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・建物倒壊シミュレーターメニュー 	<p>防災マップを終了して建物倒壊シミュレーターのメニュー画面に移動します</p>

表示レイヤ選択テーブルについて

自由選択型マップでは、レイヤー一覧から表示する防災情報を選択して地図に表示します。地図表示エリアに表示する防災情報は、レイヤー一覧から選択します。

- ① 「レイヤー一覧」の横にある「+」ボタンをクリックします。



- ② レイヤー一覧が表示されるので、表示したい災害データや背景図をクリックします。

A screenshot of the expanded layer list menu. The menu is a vertical list of items with expand/collapse icons on the right. The top item is '表示中 地図, 震度名古屋市, 浸水深' (Map being displayed, Seismic intensity in Nagoya City, Flood depth), which is highlighted with a red box. Below it are '地震ハザード' (Earthquake hazard) and '津波ハザード' (Tsunami hazard). Under '津波ハザード', there are several sub-items: '津波波高' (Tsunami wave height), '浸水深' (Flood depth) which is checked with a blue checkmark and highlighted with a red box, '津波到達時' (Tsunami arrival time), '浸水深が30' (Flood depth 30), '標高 (5mメッシュ)' (Elevation 5m mesh), and '標高 (10mメッシュ)' (Elevation 10m mesh). Below these are '土砂災害情報' (Landslide disaster information), 'AED設置箇所' (AED installation locations), '特定都市河川流域図' (Designated urban river basin map), '水害情報' (Flood disaster information), '道路冠水想定箇所' (Road flooding expected locations), '背景図' (Background map), and 'レイヤー一覧' (Layer List) at the bottom. There are two callout boxes: one pointing to the top item with the text '「表示中」には、現在表示されているレイヤ名が表示されます。' (In 'displayed', the name of the layer currently being displayed is shown.) and another pointing to the plus signs with the text '「+」をタップするとカテゴリ内の詳細メニューが展開され、「-」をタップすると展開されたメニューを閉じます。' (Tapping '+' expands the detailed menu within the category, and tapping '-' closes the expanded menu.)

- ③ 選択が完了したら、「レイヤー一覧」の横にある「-」ボタンをクリックして一覧画面を閉じます。

3.2.「住所から位置を選択」モードについて

防災マップで表示する場所を住所から設定します。

なお、「地図から位置を選択」モードの住所検索機能も同様の手順で操作ができます。

詳しい操作方法は、「シナリオ型マップ」の「2.2.「住所から位置を選択」モードについて」を参照してください。

4. スマートフォンでマップを見る

「防災マップ」はスマートフォンからも見るすることができます。

！注意！

スマートフォンからは「シナリオ型マップ」の閲覧はできません。

4.1. 「防災マップ（スマホ版）」を起動する

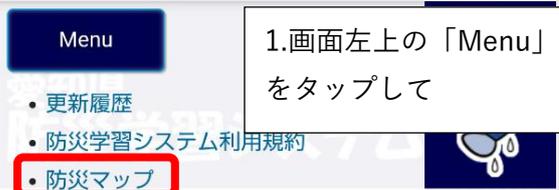
- ① ウェブブラウザを起ち上げ、「愛知県防災学習システム」のサイトを開きます。
- ② トップページにあるメニューアイコンから「防災マップを見る」をタップする（方法1）か、画面左上の「Menu」から「防災マップ」をタップします（方法2）。

方法1
メニューアイコンから選択する



Method 1 shows the mobile app homepage. At the top left, there is a blue 'Menu' button. Below it is the header '愛知県防災学習システム' with a cartoon mascot. Underneath is a 'トップページ' (Home) section with four icons: '防災マップ' (highlighted with a red box), '建物倒壊シミュレータ', '地域防災', and 'ビデオ教材'. A text box points to the '防災マップ' icon with the instruction: 'トップページの「防災マップを見る」をタップします'.

方法2
「Menu」から選択する



Method 2 shows the mobile app menu screen. At the top left, there is a blue 'Menu' button. Below it is a list of menu items: '更新履歴', '防災学習システム利用規約', '防災マップ' (highlighted with a red box), '建物倒壊シミュレータ', and '地域防災の広場'. A text box points to the 'Menu' button with the instruction: '1.画面左上の「Menu」をタップして'. Another text box points to the '防災マップ' item with the instruction: '2.「防災マップを見る」をタップします'.

- ③ 「防災マップ（スマホ版）」の説明画面が表示されます。画面を下にスクロールして、「防災マップを見る」ボタンを押します。
- ④ はじめてアクセスしたときは、利用規約画面が表示されるので、「同意して、利用する」をタップします。
- ⑤ 防災マップの地図画面が表示されます。

4.2.「防災マップ（スマホ版）」の操作方法

① 地図の表示位置を調整します

画面を触って地図の表示位置を調整します。画面をドラッグすると地図の範囲が変わり、ピンチアウト・ピンチインでそれぞれ拡大・縮小ができます。

また、住所検索機能を使って住所を直接指定することもできます。



※住所検索については、本書の「2.2.「住所から位置を選択」モードを使う」を参照してください

- ② 表示する災害データを選択します
画面中央左にある「>>」をタップします。
レイヤー一覧が表示されるので、表示したい災害データや背景図を選択します。



*レイヤについては、本マニュアル「3「自由選択型マップ」で見る」を参照してください

- ③ レイヤー一覧画面を閉じます
レイヤー一覧画面右上の「閉じる」をタップしてレイヤー一覧画面を閉じます。
地図に選択した災害データが表示されます。

ヒント

マップを終了するとき、スマートフォン本体の戻るボタンで操作してください。防災マップの画面には戻るボタンがありません